

日本古来の大和絵を継承し、昭和10年に完成した
《大政奉還》を砂川村(立川市)で描いた歴史画家

MURATA Tanryo

邨田丹陵

生誕150周年記念 特別展



邨田丹陵《藤原俊成女図》部分 個人蔵



邨田丹陵《木村長門守奮戦図(戦陣図)》部分 個人蔵

令和4年4月26日(火曜日)～5月8日(日曜日) 10時～17時
(入場は16時30分まで)

入場無料

たましんRISURUホール (立川市市民会館) 展示室

〒190-0022 東京都立川市錦町3-3-20 TEL.042-526-1311

邨田丹陵 むらた・たんりょう [明治5(1872)年～昭和15(1940)年]

旧田安藩徳川藩士で故実家の村田直景の子として東京に生まれた。名は塙(ただし)、後年に母の生家「邨田」氏を継ぐ。

吉沢素山に南北合派を学び、のち川辺御楯のもとで土佐派を学び、丹陵の号を与えられる。

日本美術協会展において歴史画を出品し、受賞を重ねる。

日露戦争に際し従軍、義兄の寺崎廣業と共に記念画帳《二龍宝台》を作る。

日本美術院・特別賛助員。

弟子には、小圃千浦(カリフォルニア大学バークレー校名誉教授・瑞宝章受章者)らがいる。

昭和10年に完成した《大政奉還》を北多摩郡砂川村(現在の立川市砂川町)にて制作した。



主催・問合せ: (公財) 立川市地域文化振興財団 <https://www.tachikawa-chiikibunka.or.jp>

後援: 立川市 企画協力: (公財) たましん地域文化財団

協力: 東京キララ社 画像提供: 福井県立美術館